

キシリトール注
20%シリンジ「NP」
配合変化試験

～ pH変動試験～

キシリトール注20%シリンジ「NP」のpH変動試験

1. 試験目的

キシリトール注20%シリンジ「NP」は、日本薬局方 キシリトールを含有するキシリトール注射液である。

今回、本製剤の pH 依存性の配合変化を予測するために pH 変動試験を実施したので報告する。

2. 試料

キシリトール注20%シリンジ「NP」

3. 試験方法¹⁾

キシリトール注20%シリンジ「NP」 1 筒(20mL)をとり、0.1mol/L 塩酸または 0.1mol/L 水酸化ナトリウム水溶液をもって滴定し、持続的な外観変化が認められた pH (変化点 pH) および滴定量(mL)を測定した。10mL の両試液を滴加しても何ら外観変化の見られない場合、その時点の pH を測定した(最終 pH)。

4. 試験結果

試料名	試料 pH	変化点までに要した mL 数	最終 pH または 変化点 pH	pH 移動指数	変化所見
キシリトール注20%シリンジ「NP」	5.31	0.1mol/LHCl 10	1.35	3.96	変化なし
		0.1mol/LNaOH 10	12.37	7.06	変化なし

5. 参考文献

1) 幸保文治、注射薬を考える (1988)、メディカルトリビューン